

7週間で未来につながる英語力を磨こう！

2026年夏

米国・テンプル大学 オンライン海外研修

～語学スキルアップ～
参加者募集

米国テンプル大学の経験豊富な講師陣が提供する、国際共修形式のオンライン英語プログラムです。将来グローバルな環境で皆さんが活躍できるよう、今のうちに英語力を身につけましょう！

プログラム開催日程 ★ 事前申込制 ★

2026 5/11(月)～6/25(木) 20:00～22:00 (日本時間)

Course 1 /

ベーシック会話コース

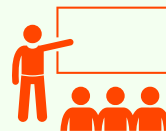


ディスカッションを通して基礎的な英語コミュニケーションスキルを身につけます。

毎週 火曜日 & 木曜日

Course 2 /

発音 & プレゼンコース



発音をブラッシュアップし、効果的な英語でのプレゼンテーションスキルを向上させます。

毎週 月曜日 & 水曜日

Course 3 /

アカデミック会話コース



専門的なディスカッションを通して高度な語彙力を身につけたい中級・上級者向け。

毎週 火曜日 & 木曜日

Course 4 /

AI活用基礎コース



生成AI（人工知能）を学術的な場面で倫理的にかつ有効に使うためのスキルを学びます。

毎週 月曜日 & 水曜日

対象 学部生・大学院生
(本学正規生限定)

定員 各コース20名程度

参加費 2万円

※約6万円の受講料の大半を
東北大学が負担しています。

募集締切日 2026年4月20日(月) 午前 9:00

※各コース定員に達した場合は、募集締切日前に募集を締め切る場合があります。

※コース受講者が10名に満たない場合は、コースがキャンセルとなる可能性があります。

※開講曜日が異なるコースであれば複数お申し込みいただけます。

お問い合わせ

東北大学留学生課海外留学係

✉ sab_query@grp.tohoku.ac.jp



申込フォームはこちら ▶



◀ 詳細はグローバルラーニング
センターウェブサイトをご覧ください。

1. ベーシック英語コミュニケーションスキルコース

ディスカッションや共同作業を通して、新しい語彙を取り入れた日常的な出来事について話し合う初級レベルのコミュニケーションスキルを身につけます。

対象者 英語圏での就学や就労を希望し、アカデミックな活動や専門的な活動に参加する際に、英語力と自信を向上させたい初級者の方。

コース概要 このコースでは、会話や共同作業を通してスピーキング力を伸ばします。各レッスンは特定のトピックに焦点を当てて進行します。

- 日常的なトピックについて話し合う
- 英語でのグループワーク

2. 発音&プレゼンテーションスキルコース

英語の発音に磨きをかけて理解力を高め、英語でのプレゼンテーションを成功させるスキルと自信を身につけます。

対象者 英語圏で働く、あるいは英語を必要とするグローバル企業で働く予定の学生で、英語でのプレゼンテーションの際に、相手に伝わりやすく自信を持てるよう発音を改善したい方。

コース概要 このコースでは、効果的なプレゼンテーションを行うための言語的・非言語的要素に加え、的を絞った発音の練習に重点を置きながら、自信をもってプレゼンテーションを行えるようにします。

- 自身のオリジナル・プレゼンテーションの企画と実施
- 仲間へのフィードバック
- 発音の問題点を見つけ、的を絞った発音練習をする

3. プロフェッショナル&アカデミック英会話コース

会話やディベートを通して、中級から上級レベルの流暢さを向上させ、ハイレベルな語彙を増やします。

対象者 英語圏での就学や就労を希望し、流暢な英語力を身につけ、学業や専門的な活動に参加する際に自信をつけたい、中級から上級レベルの英語力を持つ方。

コース概要 このコースは、専門的なトピックに重点を置いたワークショップの形式をとります。

- 学術的、専門的に関心の高いトピックについて、ディスカッションやディベートを行う
- 様々なトピックに関する記事を読み、ディスカッションやディベートに重要なハイレベル語彙を取り入れる
- 流暢かつ自信を持って英語でのディスカッションを進め、リードするための言語文化的ルールを学ぶ

4. 学術的な成功のためのAI活用基礎コース

学術活動や言語能力開発のための生成AIツールの倫理的かつ実践的な利用について、プロジェクトベース・タスクベースで指導します。

対象者 生成AIツールがどのように学業や研究タスクを支援できるかについて学びたい、中級から上級レベルの英語力を持つ方。

コース概要 このコースでは、学術的な場面で生成AIツールを倫理的に使用するために不可欠なスキルを扱います。

- 課題や研究のサポートとしてAIを利用する際の適切な利用法、不適切な利用法を明確にする
- AI利用が学問的誠実性 (Academic Integrity) に抵触する可能性を探求する
- AIからの情報に潜む「偏り (Bias)」を見つけて、正しく扱う方法を身につける

～ 皆さんの参加をお待ちしています ～